

民事訴訟の理論と実務【第二版】



著者 : 東京簡易裁判所判事 三好一幸
 定価 : 3,520 円(本体 3,200 円+税)
 判型 : B5 判
 ページ数 : 226 ページ
 ISBN : 978-4-906929-97-9
 発行 : 2023 年 5 月

内容

民事訴訟の基本手続について、法と規則を関連させ、根拠となる最高裁判例を多数掲載しながら簡潔に解説し、概説書として好評を得た初版について、民訴法改正部分を書き改めた改訂版です。

特に、民事訴訟制度のIT化に関し、令和4年5月25日公布の民事訴訟法等の一部を改正する法律(令和4年法律第48号)について、先行して施行される「当事者の住所及び氏名の秘匿制度」、「ウェブ会議による和解期日や弁論準備手続期日への参加」など、改正部分に関する記述を1章を設けて行っており、新任簡易裁判所判事に必携の資料になるとともに、弁護士や司法書士等の法曹関係の方々にとっても有用な資料となります。

目次(抄)

第1章 民事訴訟の原則	第4 計画審理	第8章 訴訟の終了
第1 民事訴訟法の通則	第5 口答弁論の実施	第1 訴えの取下げ
第2 訴権	第6 当事者の訴訟行為	第2 請求の放棄及び認諾
第3 当事者主義	第4章 証拠調べ	第3 訴訟上の和解
第4 弁論主義	第1 証拠	第4 終局判決
第5 口頭主義	第2 証拠調べ手続	第9章 民事訴訟制度のIT化
第6 直接主義	第5章 複数請求訴訟	第1 改正法の施行期日
第2章 訴え	第1 請求の客観的併合	第2 オンライン提出等
第1 管轄	第2 訴えの変更	第3 ウェブ参加等
第2 移送	第3 中間確認の訴え	第4 記録の閲覧等
第3 当事者	第4 反訴	第10章 判決起案
第4 訴え	第6章 多数当事者訴訟	第1 当事者、代理人等の表示
第5 訴訟要件	第1 共同訴訟	第2 主文
第6 訴えの提起	第2 訴訟参加	第3 事実
第3章 民事訴訟の審理	第3 訴訟承継	第4 理由
第1 口答弁論の準備	第7章 弁論の終結	第5 更正決定
第2 口頭弁論期日	第1 弁論の終結	事項索引
第3 訴訟指揮権	第2 弁論の再開	条文索引
	第3 法廷審理期間訴訟	判例索引